


# 一般質問通告書

次のとおり質問したいので通告します。

平成 26 年 2 月 16 日

山北町議会議長 池谷 莊次郎 殿

受付番号	第 3 号	質問議員	11 番	小 栗 直 治	
件 名	地域防災計画の強化推進について				
要 旨					
<p>平成 25 年 3 月に山北町防災会議が、災害に強いまちづくりを目指し「山北町地域防災計画」の全体計画を見直した。その基本は自らの身は自ら守る、3 日間の食糧や飲料水等の備蓄、災害時の行動ルール作りなど、日頃から日常生活の一部となる事が必要とされています。この実現の為には、町職員や防災関係機関等にも、周知徹底させ、特に必要と認める事項については、町民にも広く周知するとあります。そこで、本計画が見直しされて 1 年になりますが、この間に周知が必要と認めた防災強化項目には、どのような提案があったのか。またそれらについて、どの様な指導や周知をされたのか伺います。</p> <p>つぎに、町の防災強化につながると思われる 2 点について、町長の見解を伺います。</p> <p>(1) 町内防災活動の中心になっている町消防団について 少子高齢化が進み地域によっては、新団員になる人がいません。その為、分団では団員確保に、大変苦勞されています。もう一度消防団の再編成が必要と考えます。また町長は、平成 25 年 6 月の一般質問で府川議員の質問に対して、消防団OBによる消防団災害支援団員制度については検討し、企業については、企業の実情、法律上の問題がクリアされれば取り入れていきたいと答弁しているが、その後の取り組みはどうか。</p> <p>(2) 防災情報の伝達について 防災情報は防災行政無線がデジタル化され活躍していますが、役場本庁舎から大野山山頂中継局に電波を送り、大野山から町内各地に送信しています。</p> <p>本庁舎は、自家発電や予備バッテリーで通信可能であっても、大野山山頂中継局が被害を受けたなら、町内送信は完全に出来ません。予備中継局として、役場本庁舎の屋上や、駅北側住宅の屋上、丸山や浅間山に、作るべきと考えます。</p>					
以上					